



毎年恒例の「だるま」や「さくらんぼ」がお披露目 初市を迎えた大田市場！

初市の様子

- 期日：1月5日(金)
- 場所：大田市場 東京青果(株)
- 主催：東京青果(株)
- 内容：福を呼ぶ縁起物の展示、宝船の競売等

「福を呼ぶ縁起物」や野菜の宝船がお披露目！

初市を迎えた大田市場では新年ならではの光景が見られました。セリ台前には、群馬県のJAたのふじから「だるま」、愛知県のJAひまわりから「豊川稲荷の熊手」、JA全農山形から「さくらんぼ」の「福を呼ぶ縁起物」などで華やかに彩られました。また、卸売場には、ブロッコリー、ダイコン、ねぎ、にんじん等の様々な野菜で飾られた3隻(大2隻、中1隻)の宝船が並べられ、多くのギャラリーが見守る中で競売されました。

(株)東京青果の川田社長から、「去年は卸売市場法の改正が大きな議論を呼びましたが、その一方で卸売市場が大切な社会インフラであることが再認識されたと感じました。本年も全力で集荷してまいりますので、引き続き御支援よろしく申し上げます。」と新年の挨拶があり、新年恒例の3本締めが行われました。

H29年は11月以降出荷量減少から単価上昇！

去年は天候に恵まれたスタートでしたが、7月には豪雨があり、また10月には台風が2週連続で上陸し農作物に多大な被害を与え、11月以降は出荷量減少から単価は上昇しました。

H29年入荷量は前年比102%、平年比100%であり、6個の台風上陸や秋の多雨寡少で全国的に野菜の入荷が不安定になった一昨年よりはやや多くなりました。同価格は前年比94%、平年比104%でした。また、販売金額は388,853百万円で前年比95%、平年比103%と過去10年で最高となった前年はやや下回りましたが、平年をやや上回りました。



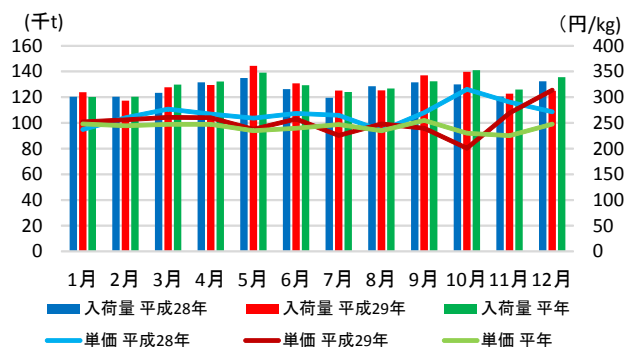
野菜の宝船



「福を呼ぶ縁起物」



(株)東京青果の川田社長挨拶



月別の都中央入荷量と単価の推移 (H28、H29、平年)